



「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」

NO.16

# 新田南小学校だより

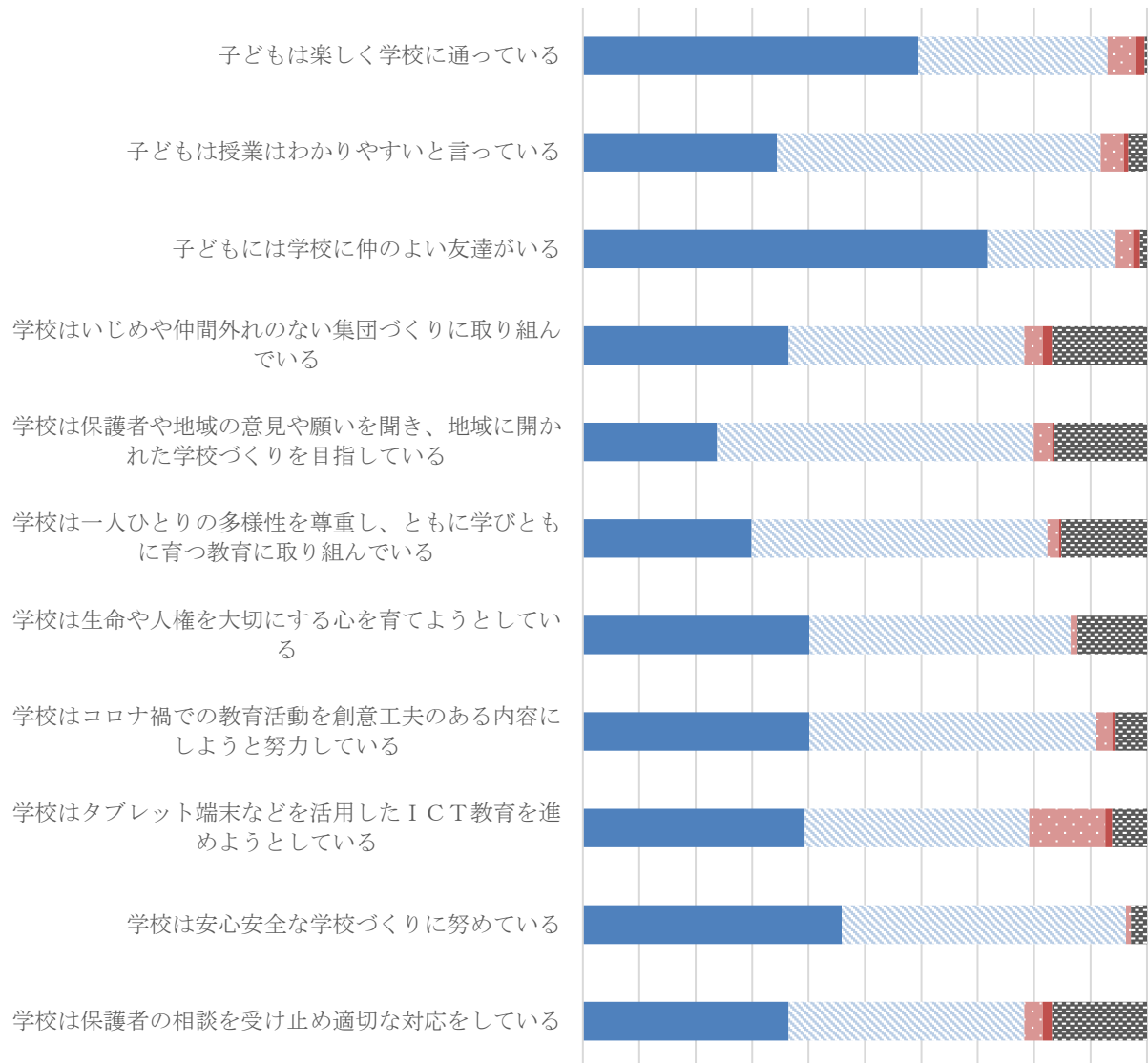


令和5年（2023年）2月8日発行

## 学校教育アンケートの集計結果

保護者アンケート

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■あてはまる ■どちらかといえばあてはまる ■どちらかといえばあてはまらない ■あてはまらない ■わからない

学校教育についてのアンケートに今年度も多くの保護者の皆様からご回答を頂きました。ありがとうございました。アンケート結果や頂いたご意見等につきましては、真摯に受け止め、全教職員で共有して、今後の教育活動改善を検討する資料として活用させていただきます。また、今回の結果も踏まえて学校評議員会の評議員の皆様から合わせて本校の教育活動についてご意見を頂き本校学校教育の改善に取り組みたいと思います。

「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた肯定的な回答（肯定回答）がどの項目も概ね80%以上となっております。昨年度と比較して「わからない」の回答が増加した項目があり課題と認識します。

各項目の令和3年度から5ポイント以上の変化のあった項目をご説明します。（※全てのご家庭がご回答されていないことやご回答いただいた件数は昨年度とほぼ同数ですが卒業、入学などで回答者が代わっていること、また、個々の教育的な課題の把握については、単に数値や割合で表現できないことを共通の前提としてご理解頂き、ご確認ください。）

「学校はいじめや仲間外れのない集団づくりに取り組んでいる」は7ポイント程、肯定回答が増加しております。「学校は保護者や地域の意見や願いを聞き、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる」は9ポイント程、肯定回答が増加しております。しかしながら、肯定回答としては共に80%弱であり、今後も集団づくりや保護者や地域の皆様の期待に耳を傾け、努力する必要があると認識します。

「学校はコロナ過での教育活動を創意工夫のある内容にしようとしている」と「学校は安心安全な学校づくりに努めている」は共に5ポイントの肯定回答の増となっております。90%以上の肯定回答となりました。

「学校はタブレット端末などを活用したICT教育を進めようとしている」については、肯定回答は80%弱で昨年度と変化がありませんでした。子どもたちや教職員は昨年度と比較して端末使用には慣れてきたと思います。今後更には、子どもたちが学びのためのツールとして主体的に利用できるように、具体的には子どもたちが調べたいことや表現したいことなどがあれば、いつでも端末活用ができる環境を整えることが必要であると考えます。

「学校は保護者の相談を受け止め適切な対応をしている」は、5ポイント程、肯定回答が低下し「わからない」の回答が増加しました。学校とご家庭の連携は学校教育では欠かせないものと認識しておりますので、日々の教育活動に対するご相談や学校生活に関するご相談は遠慮なくお願いします。また、ニーズに応じて本校に定期派遣される教育相談員やSSW（スクールソーシャルワーカー）などの専門職の有効な活用をさらに進めていきたいと思ひます。

ご意見やご感想欄には、29件いただきました。また学校や教職員、指導内容、指導体制につきましては、15件の肯定的な評価のご意見、ご感想をいただきました。反対に改善要望として、コロナ禍の学校行事の対応について1件、端末の活用、ICT教育の推進が4件、指導方法改善の要望が2件、学校の生活・学習のルールへの要望が4件がありました。その他、学校からの配付物や校内の警備体制などの改善要望が3件ありました。

お子さんが回答したアンケート結果は次号に

